



HTBS-200-30

油圧式トップブレイシング

HYDRAULIC TOP BRACING

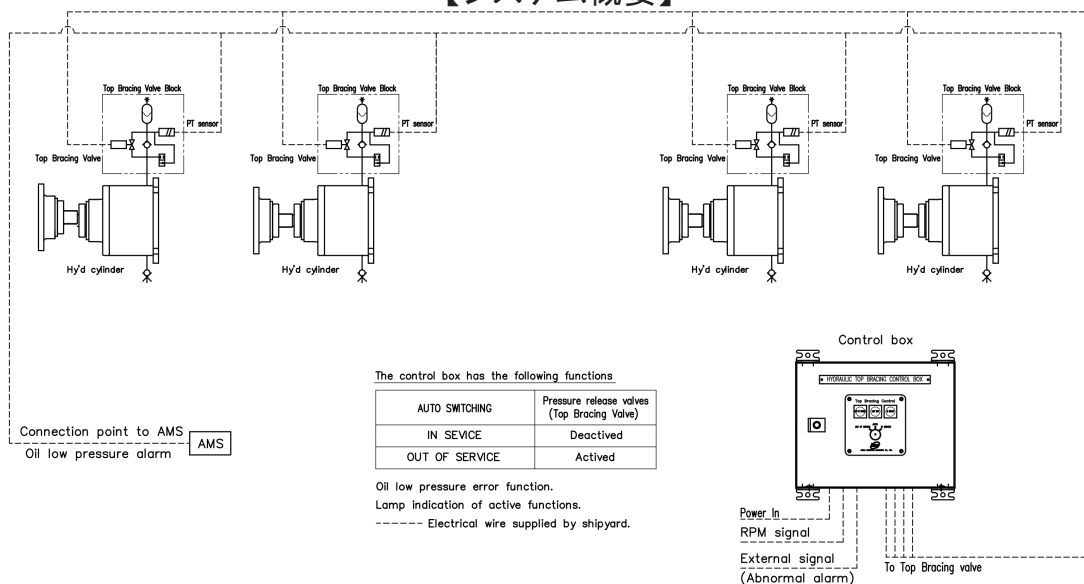


■はじめに

油圧式トップブレイシングはエンジンと船体の間に設置され、固有振動数を変更してエンジンの通常操作時に同調が起こらないようにします。

標準設置では、エンジンの大きさとシリンダー数に応じ、2, 4, 6本のトップブレイシングシリンダーが用いられます。トップブレイシングのシリンダー直径はφ200mmで、エンジンボア50以上60未満に対しては41barの安全弁付き、ボアサイズ60以上に対しては64barの安全弁付きで供給されます。

【システム概要】



■技術説明

油圧式トップブレイシングのシステムの部品は以下のとおりです。

1. エンジンタイプに応じて、1対(2または3対)の油圧式トップブレイシングユニットがあり、各々は次の構成になっています。
 - a. 油圧アキュムレーター
 - b. バルブブロックユニット - 逆止弁、2個の安全弁、ソレノイドバルブ、1個の油圧計、圧力変換器および2個のミニメスカップリング付
 - c. 据付フランジおよび持ち上げツールを含むトップブレイシングユニット
2. 多機能回転スイッチ、2個の表示ランプ及びランプ用テストスイッチ付の1面コントロールパネル
3. トップブレイシングユニットを正確に位置決めするのに用いる1個の搭載ツール
4. 油圧ハンドポンプ
5. 1個の持ち上げツールセット、1- 充填ホース、1- 空気抜きホース、1- ボールバルブ、1- アイボルトおよび2- トミーバー入りの工具箱

■機能説明

油圧式トップブレイシングは単動、自己調整ユニットで構成されています。

実際に油圧はエンジンが振動を始めた時、急速に増加します。

トップブレイシングシリンダーを通して伝わり、シリンダーは剛体接続として作用するので、固有振動を変化させます。油圧計と油圧変換器はアキュムレーターに接続された枝管に設置されていて、予め注入された油の圧力を検出します。変換器の計測範囲は0～16barで、油圧が6.3bar以下になるとAMSが警報を発します。

ソレノイドバルブは圧力逃し弁を含む枝管と並行する枝管に設置されています。

ソレノイドバルブによって、関連する枝管を開閉できます。

ソレノイドバルブが開くとシリンダーの油圧回路にアキュムレーターが接続され、アキュムレーターの圧力が減圧し、シール効果が復活します。

実際、ソレノイドバルブはエンジンが静止している時は開いており、エンジンが作動中は閉じています。ソレノイドバルブは±10ボルトの回転信号につながれた、閾値設定可能なスイッチによって制御されます。

輸入販売元：

株式会社日本アイ・アール / NAR CORPORATION

〒662-0093 兵庫県西宮市西平町 1-5

TEL:0798-73-0593 FAX:0798-73-0596



URL:<http://www.nar-corp.co.jp>